

いま
現代につながる

産科の歴史と“よもやま話”

産科は科学に成り切れなかった医学とされています。内科や外科での治療は統計や治験などで、診断も治療も一律に決められた範囲が広くあります。もちろん産婦人科においても、いつでもどこでも一定水準以上の医療が受けられるように、日本産科婦人科学会がガイドラインを作成し世界的に見ても高い医療水準を維持しています。しかし、最後はお産の現場での判断を迫られることも多い診療科です。その際役立つのがそれまでの経験で、古代より産科に携わる人たちは先人の経験を引き継ぎ、妊婦さんと赤ちゃんを守ろうと努力してきました。今回はその歴史をご紹介します。

産婦人科医師 橋本一郎



さかのぼること…

紀元前2000年頃、古代エジプトで医師カフーンは産婦人科パピルスをまとめ上げました。

宗教的あるいは魔術的要素のないその書は豊かな経験と優れた知識に基づき、複雑な症例・兆候を正確にとらえ、質の高いものでした。その内容は妊娠の診断から陣痛、母乳の促進などがあり、婦人科的には生理不順から乳房や性器の病気まで取り上げられていました。

ローマのハドリアヌス帝の時代、医師

ソラノス(98～135年)は産科において多大な業績を残しました。骨盤の狭さや異常胎位を難産の原因とし、出産時の助産婦や介助者の立ち位置、妊婦の寝かせ方まで分娩手順を事細かに記しています。

中世になるとアラビア医学による鉤と鉗子を用いた、母体優先というより短時間の分娩を目指す時期が続きました。1100年以降は再び会陰保護が行われ、このころから分娩は助産婦(産婆)に委ねられていきました。一方、死体を用いて帝王切開が試みられ始めまし

た。1500年スイスで生身の人で帝王切開に初めて成功したことで産科学の新しい幕が開け、近代産科学が誕生しました。

医学は感染症との戦いの歴史でもあります。

日本では分娩後24時間以降、産後10日以内に2日以上にわたって38℃以上の発熱をきたしたものを産褥熱としています。主として分娩の際に生じた傷を介して細菌に感染するもので、かつては妊産婦死亡の最も重要な疾患でした。

まずフランスの細菌学者ルイ・パスツール(1822～1895年)が病気の原因の多くが微生物によることを突き止めました。オーストリア・ウィーン大学の産婦人科医イグナーツ・フィリップ・ゼンメルワルス(1818～1865年)は産褥熱と劣悪な環境との関連に注目しました。彼はスタッフの手消毒による予防効果を提言しましたが当時は認められませんでした。後年ゼンメルワルスの業績を高く評価したのが、パスツールの教えを受けたイギリスの外科医ジョセフ・リスター(1827～1912年)でした。1867年に彼は医療スタッフの手、患者の皮膚、器材、包帯材料などの石炭酸消毒が院内感染予防に有効なことを見つけました。このことが今日の消毒・滅菌処理へと発展しました。

産婦人科医療が歴史に影響を及ぼし、戦争を引き起こす一因となったこともあります。

ドイツ最後の皇帝ウィルヘルム2世は1859年プロイセン太子と英国女王の長男として生まれました。彼の出生には詳細な記録が残っています。母の陣痛発来後9時間の時点で英国人侍医は逆子であることに気づきベルリン大学産科教授に応援を求めました。そして分娩時左腕が引き伸ばされた状態で出生し、皇帝は上腕神経叢麻痺を発症しました。これは首にある神経が引き伸ばされたことにより手首から先は動きませんが、肩や肘が動かなくなる障害です。このため皇帝は母の取り巻きだった英国人、特に無効な電気治療を行った英国人医師を恨みました。成人しても最も近い親戚である英国王に強い競争心を抱き、これが第一次世界大戦の原因のひとつとなりました。



紫式部日記絵巻断簡より抜粋 (写真=東京国立博物館蔵 / CC-PD-Mark / Wikimedia Commons)

日本のお産の発展

一方日本ではどのように産科が発展したのでしょうか。

701年に制定された大宝律令「医疾令第十六条」に「女医」という記載があります。これは産婆や看護師のような存在だったとされています。「安胎産難」の方法が伝授され、修業期間は7年とされていました。

奈良時代以降は仏教の影響を受けて血液を忌み嫌い、月経や分娩に関わることを不浄視する傾向が生まれました。平安時代以降、産婦は、分娩のためにあらかじめ宮中の別棟に造られた産所へ退出させられました。そして「腰抱」という、分娩時に産婦を介抱し、分娩を補助する産婆の始祖ができました。

鎌倉時代以降には始めて婦人科専門医が誕生し専門書も書かれました。助産

婦の存在を示す最も古い書籍は「中条流産科全書」(1778年)であり、これには「トリアゲ婆」と記されています。

江戸時代よりオランダから西洋医学がもたらされるようになります。

江戸末期には日本最初の西洋式医学を学んだ産婦人科女医が誕生します。ドイツ人医師シーボルトと遊女の間生まれた楠本イネ(通称オランダおいね)はシーボルトやその弟子達より学び、明治4年東京築地に産科医院を開業しました。その後福沢諭吉の口添えにより宮内庁御用掛となり、明治天皇の女官葉室光子の出産に立ち会っています。

現代の医療はこれら先人の経験に基づいています。母児の蘇生法など劇的に進歩した領域もありますが、分娩助産などはそれほど昔と変わりません。

当院の経験豊かなスタッフは、皆さんのお産の支えになると信じております。

いかにいかがかぞへやるべき八千歳の
あまりに久しき君が御代をば

“よもやま話”

先に産科は科学に成り切れなかった医学と述べました。そのため直接治療に役立つ情報でなくとも、興味深い発表がよくあります。その中のいくつかを示しましょう。

まず父性です。性欲や闘争心、肉体的強靭さをもたらすテストステロン(男性ホルモン)の値をフィリピンで5年近く21～26歳の男性624人を追跡調査しました。この間に一部の男性は父親になり、初期のテストステロンが最も高かった男性群が父親になる可能性が高い結果でした。しかし一度父親になるとテストステロンは大幅に減少し、生後1ヵ月以内の新生児を持つ父親がもっともテストステロンが減少していました。テストステロンは若く、未婚で、子どもがいない男性にもっとも多く分泌されています。これは旺盛な生殖意欲と結びつきます。しかしテストステロンが少ないと男性は父親の役割を引き受け、育児に協力する可能性が高まります。これは他の哺乳類に比べはるかに長く両親に依存した子ども時代を過ごす人間にとっては、特に必要なことと言えます。

母性に関してはチンパンジーを観察し、母性は先天性か後天性かを探った発表もあります。幼い時よりヒトに育てられたチンパンジーは、自分の分娩や生まれた子どもに恐怖を示しましたが、自ら抱くことはありませんでした。しかし信頼する飼育員

に子どもを抱かされると拒否せず、その後3ヵ月間の授乳期間中子どもを手放すことはありませんでした。これはチンパンジーに生まれつき淡い母性は存在するが、子育ては学ばなければならないことを示しています。

人間の赤ちゃんがほかの動物に比べて小さな脳や未熟なからだで誕生するのは、赤ちゃんの頭が大きくなる産道を通らないためとの説明が一般的です。しかし研究チームは赤ちゃんの頭が少し大きくなったとしても、母親の出産や歩行に支障はないとみられることをさまざまな方法で確認しました。同時に妊娠後は胎児の成長に伴って成育に必要なエネルギーが急増し、9ヵ月を過ぎると胎児に回る栄養のために母体が摂取できる量では母体の栄養が不足しかねないことを確認しました。このため母子間のエネルギー需給のバランスが限界に近づき、母体の危険を避けるため出産に至ると考えています。

冷え性と早産の関連を示す発表があります。首都圏の2810人を対象に調査が行われました。結果冷え症の妊婦は早産のリスクが3倍でした。

(早産の割合は冷え症の女性で6.7%、冷え症でない女性は1.9%でした。また冷え症の妊婦は分娩時間が長引くリスクが2倍以上でした。これは母体の血流や自律神経が関連していると考えられます。

妊娠中のマタニティ旅行を「マタ旅」ということがあります。東京ディズニーリゾート近くにある順天堂大学浦安病院と船橋中央病院の医師らは「東京近郊にある巨大テーマパークからの産科緊急受診に対する検討」と題した研究を発表しました。4年間でテーマパークから運び込まれた旅行中の妊婦は計129人でした。診断は切迫流産が61人(47%)と最も多く、切迫早産および疑いが26人(20%)でした。入院したのは20人で、NICUでの新生児管理が必要なケースは6例ありました。母子健康手帳がないケースや、必要な情報が得られないケースが目立つとの報告でした。今は多くの外国人が日本に観光に来ており、外国人患者の増加も心配されます。

妊娠中のお酒やタバコは絶対避けるべきですが、よくカフェインを気にされコーヒーは大丈夫でしょうかとの質問を受けます。妊娠中は1日当たり200mgまでのカフェイン摂取が適量とされ、これはコーヒー約360mlに相当します。カフェイン入りのお茶やほとんどの清涼飲料に含まれるカフェイン量は、これよりはるかに少なく50mg未満です。カフェインが胎児の成長を妨げる明確

な証拠はなく、適量であれば流産や早産を増加させることもありません。

妊娠中に辛い物を食べるのはどうでしょうか?トウガラシの辛味成分であるカプサイシンは、大量(8g)摂取で胃酸分泌を亢進し、低用量(0.1g)で胃酸分泌を抑制するとの報告があります。妊娠中の悪影響としてはカプサイシンを過剰摂取すると胃酸分泌が高まり、逆流性食道炎の発症率を増やすと考えられます。よって過剰のトウガラシ摂取は控えることが推奨されます。

またコショウはカプサイシン受容体を活性化することが知られており、トウガラシと同様に過剰摂取は控えることが推奨されます。しかし、カプサイシンは悪いことばかりではありません。なぜならカプサイシンには減塩作用が期待できるからです。妊娠中は妊娠高血圧症候群の妊婦さんに代表されるように、塩分の過剰摂取は避けなくてはなりません。ただ妊娠中は味覚が鈍くなり、味付けが濃くなりがちです。そこで少量のカプサイシンを投与することで辛味の刺激により、調理の塩分を控えることができます。また辛さは味覚ではなく痛覚で感じるので、妊娠中も敏感さは変化しないと考えられます。

出産後についてもさまざまな報告があります。妊娠中の食事に関しては多くの研究があり、当院でも食事指導を行う場合があります。ただ産後の授乳中の

食事に対する関心は低いように思われます。授乳中にニンニクやカレー風味の食事をすると、母乳にもその香りがするとの報告があります。しかしこれは赤ちゃんにとって害があるわけではありません。むしろいろいろな風味に早くから慣れることによって、味覚の成長を促すことも期待できます。また昔は乳腺が詰まるため脂っこい食事を避けるように指導されていましたが、これにはあまり根拠がありません。むしろDHAやEPAなどの青魚由来の油を積極的に摂れば、それは母乳にも分泌され赤ちゃんの脳の発育を促します。

おむつ替えが赤ちゃんの睡眠の質を悪くしている場合もあります。P&Gが睡眠と目覚めのリズムができ夜にまとめて寝ようになるとされる生後3～5ヵ月の赤ちゃんのデータを分析すると、日本では7時間以上連続した睡眠を確保できていたのは19%でした。同社がドイツとフランス、英国で行った調査では55%が7時間以上連続した睡眠を確保できていました。さらに夜中におむつを替える母親の割合は欧州が25%なのに、日本は60%と高い割合を示していました。最近の紙おむつは吸収力が高いため夜中の交換はどうしても必要とは言えず、日本では必要以上に手間をかけている可能性のあることが分かりました。また赤ちゃんを寝かせる際、子守唄を歌ったり音楽を聞かせたりといった日課を実行している母親は、欧州で90%以上だったのに日本では40%に留まっていた。同社はこうした行動の違いの影響ではないかと見えています。

父親のおむつ替えに関する研究もあります。日本の父親が赤ちゃんのうんちの後にオムツを替える頻度は週0～2回が平均です。そんな父親5人のおむつ替えをビデオで撮影し、父親の行動と赤ちゃんの反応を分析しました。赤ちゃんに対して声を掛けたり顔を見つめたりする「働きかけ」が1回当たり平均26回と、母親の場合の2倍以上でした。そんな父親の働きかけに対し、赤ちゃんが笑うなど肯定的に反応する回数は母親より多いという結果でした。これは母親と違う人に世話されることを楽しんでいるように見えます。次に父親と赤ちゃんのストレスを測定しました。ストレスが高まると唾液中に含まれるアミラーゼの濃度が高まることが知られています。おむつ替えの後、アミラーゼの濃度を測ると父親のストレスは低いのに赤ちゃんのストレスが高いケースが少なからずありました。調べてみると赤ちゃんのストレスの原因は、お尻の拭き方が速すぎるためと判明しました。おむつを替える時はお尻拭きなど必要な物をそばに置き、慌てず段取りよく進めることが重要でした。

最後に

いかがでしたでしょうか?妊娠・育児への疑問や興味は尽きません。当院では患者さんの心配や不安に可能な限り寄り添い、少しでも安全で楽しい妊娠・育児のお手伝いのできればと考えております。どうぞためらわずお気軽になんなりとご相談ください。



I'll answer that question.

私がお答えします

あなたは日常の診療を通して、疑問を持ちながら何気なくやり過ごしていることや訊きそびれていることはありませんか?このコーナーでは患者さまをはじめそのご家族の、診療におけるさまざまな質問や相談に、当院の適任スタッフが答えするコーナーです。



子宮頸がんの予防のためにワクチン(HPV)を接種しようと思います。詳しく教えてもらえますか?



まず、子宮頸がんについてご説明させていただくと、子宮頸がんとは子宮の入り口である子宮頸部にできるがんで、日本では毎年約10,000人が新たに子宮頸がんと診断され、年間約3,000人の方が亡くなっています。子宮頸がんは、年齢を問わず20～30歳代の若い世代でもかかる病気です。子宮頸がんの原因のほとんどがヒトパピローマウイルス(HPV)の感染から発症します。HPVは男女ともに感染する可能性があり、主に性交渉を介して感染することが知られています。海外では性交渉の経験がある女性なら84.6%の人が一度は感染するともいわれています。10歳代からの「HPVワクチン接種」で感染を予防することと、20歳からの「定期的な子宮頸がん検診」でがんの早期発見につなげることが非常に重要だといわれています。



ワクチン(HPV)は公費で接種できると聞きました。何歳から接種できますか?



HPVワクチンの定期接種の対象年齢は小学校6年生から高校1年生相当ですが、現在、全国的にHPVワクチン接種の啓蒙活動が行われており、その対象年齢の時期に接種を逃した方も公費での接種が可能となっています。この事業は「キャッチアップ接種」と呼ばれ、今年度の場合、平成9年度生まれ～平成19年度生まれ(誕生日が1997年4月2日～2008年4月1日)の女性が対象となり、過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていないことが条件となります。(キャッチアップ接種は2025年3月末で終了予定です)



どう接種すればいいですか?



HPVワクチン接種を受け付けている医療機関へお申し込みください。当院の産婦人科でも、HPVワクチン接種は受け付けています。まず受診し、医師からHPVワクチン接種のメリットとデメリットについて説明を受けていただきます。ご本人とご家族が納得された上で、接種予約をお取りいただきますが、ワクチンの入手に数日かかる場合がありますので電話でお申し込みください。接種日には、必ずご自身の母子健康手帳をご持参いただいています。当院が取り扱っているHPVワクチンは「シルガード9」という薬剤で、ヒトパピローマウイルス(HPV6、11、16、18、31、33、45、52、58型の9つ)の感染を防ぐワクチンになります。「シルガード9」は、15歳未満の女性の場合には、初回接種から6～12ヵ月の間隔をあけて合計2回、筋肉内に注射します。15歳以上の女性には、合計3回、筋肉内に注射します。通常、2回目は初回接種の2ヵ月後、3回目は6ヵ月後に接種します。



接種した後に副反応はありますか?



接種後にめまいやふらつき、失神などが起こることがあります。転倒などされないよう、接種後すぐには帰宅されず、30分程度は院内で様子を観察させていただきます。からだを預けられるような場所、イスに座るなど安静にお過ごしください。一般的にワクチンを接種すると、接種した部位が腫れたり痛んだりすることがあります。これは、からだの中でワクチン成分に対する反応が起こるための症状で、通常は数日間で治まります。長く続くなど、気になる症状がある場合は医師にご相談ください。なかでも、とくに注意が必要な副反応は、過敏症反応(アナフィラキシー、気管支けいれん、じんましんなど)、ギラン・バレー症候群、特発性血小板減少性紫斑病、急性散在性脳脊髄炎などです。



数年前に、2価HPVワクチンを接種しました。まだ接種が3回終わっていないのですが、どうしたらいいですか?



各回の接種間隔があいた場合でも最初から接種をやり直す必要はなく、残りの回数を接種していただくようになります。接種されたワクチンが2価HPVワクチンでも、4価HPVワクチンでも同様です。接種開始時の年齢などによって接種方法が変わりますので、そのような場合にはお問い合わせください。なお、海外臨床試験の結果では、2回目や3回目の接種が遅れた場合でも、抗体反応は良好で、通常のスケジュールに劣らなかったことが示されています。HPVワクチンの接種は、原則、同じ種類のワクチンで実施することとされていますが、2価または4価HPVワクチンで規定の回数の一部を完了し、9価HPVワクチンで残りの回数の接種を行う交互接種についても、実施して差し支えないこととなっています。ご不明なことがあればご相談ください。

私がお答えしました



薬剤師 中山明子

今回は昨年6月から勤務された越智先生です。それではいつもながらご出身などをお伺いします。

しまなみ海道を渡った対岸にある愛媛県今治市の出身です。実家のある今治市から福山市は近いこともあり、分娩数が最も多く、婦人科疾患の治療にも力を入られている小池病院で働きたいと考え就職いたしました。

先生は数々の病院でスタッフをおまとめになられていた経験もありと聞いております。そのようなご経歴からの視点も交えお答えいただければ有難いです。

まず、産婦人科という診療科を選ばれた理由をお教えてください。

産婦人科は、新しい命の誕生に立ち会うことができる唯一の診療科ですね。その出産に携わることに大きなやりがいを感じ、母子の健康に直結するこの仕事に使命感を抱いたのでこの診療科を選びました。また、産婦人科は、一般外科を含めて外科系の診療科の中で、最も早く腹腔鏡手術を取り入れたので実践もしてきました。帝王切開だけでなく、内視鏡による婦人科手術にも大きな意義や価値を見いだしたことも産婦人科を選んだ理由の一つです。

飛躍しますが、現在の専門分野「産婦人科」の状況はいかがですか？

遠隔医療やデジタルツールを活用した産婦人科診療が普及しましたね。これにより、遠隔地に住む患者さんや妊婦さんに質の高い医療が提供できるようになりました。香川県では、香川大学が沖合の島に住む妊婦さんの胎児モニタリングのデータを共有管理して、高松市内の病院での管理に準じた胎児管理を遠隔でも行っています。今後は最新の技術で、医療上、困窮している方をサポートできることがますます増えることを望んでいます。

広げて、今後の医療分野ではどのような変化が予想されるか、またはどのような課題があるとお考えでしょうか？

そうですね。遺伝子技術や再生医療の発展により、遺伝的疾患の治療が進むことを期待しています。また、人工知能AIを活用した診断により、医療の質の向上が期待されますね。産婦人科領域では、母体血中に胎児細胞が存在することは30年以上前から知られていましたが、現在、この細胞を用いて母体の血液から胎児の染色体情報を得ることができるよ

この人に注目！

ここでは、当院で働く全スタッフの中から、毎回一人にスポットを当て、より深く自分の仕事やプライベートについて、また本人の視点での「小池病院」とは、などを語ってもらうコーナーです。

Closeup

産婦人科医師 **越智博**
OCHI HIROSHI



うになりました。非侵襲性出生前遺伝学的検査、NIPTと呼ばれているものがそれです。ただし一方では、倫理的な問題をはらんでいるため、遺伝カウンセリングが重要になります。

とても勉強になりました。

さて、日常の診療上で心がけられていらっしゃるなどとはいかがですか？

産婦人科の医師として、患者さんが感じている不安や悩みに共感し、それに対する配慮をもって応じることの大切さを感じています。妊娠中や出産後の精神的なサポートはもちろん、患者さんが心のケアを求めている場合は、その気持ちに寄り添うことも重要ですので、多職種スタッフと連携協力して良質なケアができるよう努めています。

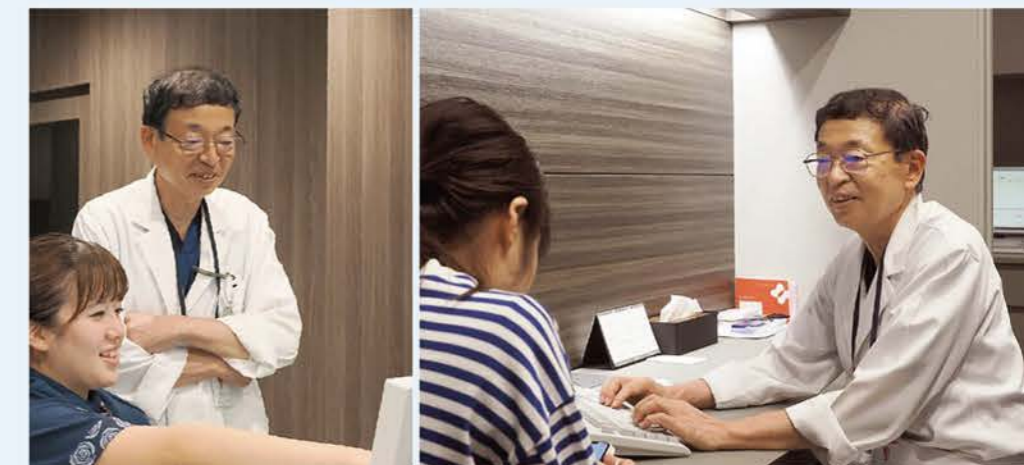
少しプライベートなこともお聞かせください。仕事とプライベートのバランスをどのように取られていますか？

医師という仕事はやはりストレスが多いため、自分なりのリラックス方法や趣味を持つことが重要です。簡単な答えですが、読書や運動などで心身の健康を保つように気をつけています。

最後に、当院のセールスポイントをあげていただけますか？

分娩においては、市内最多の出産数が物語っているように、良質な産科医療が提供できていると思います。一方、婦人科疾患の治療にも力を入れている点が特徴的ですね。1例を上げれば、腹腔鏡手術のような繊細な操作を必要とする手術では、通常は直径10mmのスコープの挿入が必要ですが、当院の導入しているスコープは先端CCDを搭載し、直径5mmと細径ながら高画質で鮮明な画像を実現しています。観察できる深度が深く、腹腔内をより均一に照らす配光性が向上しているため、さらに小さな傷で、高度な手術に対応した画像を得ることが可能です。最先端のデバイスを使用した、高度な腹腔鏡手術でお応えしています。

普段お聞きできないようなお話しも含め、本日はありがとうございました。





医師 小池美緒
日本小児科学会専門医

「育児休暇」は必須です！

この原稿を書いている時、わがカーブは首位ですが、2位とのゲーム差はあまりなく、優勝争いが激しくなっているところです。熱い戦いが続き、目が離せません。私はテレビ観戦をしている時に、カーブがサヨナラで勝ったり、貴重な勝ち越し打が出た時に、新井監督が全身で喜びを表している姿を見るのが大好きです。今年のピースナイターで菊池選手がサヨナラホームランを打った時はベンチから飛び出し、ホームベース付近で出迎え抱き合っていた姿、選手時代にも同じように2人が抱き合っていたことがあったなあと思い出し、監督になっても選手時代と変わらぬ新井監督に胸が熱くなりました。残りの試合も楽しみです！

* * *

以前に比べてお父さんが「育児休暇」を取得するご家族が増えてきたかなと思いますが、その期間は数日～1週間だけとまだまだ短い方が多く、1ヵ月以上取得する方は少ないと思います。

産後しばらくはお母さん自身の体調が戻らない中、生まれたばかりの赤ちゃんのために頻回に授乳をしなくてはなりません。授乳とおむつ替えだけであつという間に1日が過ぎて、ゆっくりからだを休める暇がないと思います。

お兄ちゃんやお姉ちゃんがいる場合は、赤ちゃんの世話の合間に上の子の世話もしなくてはならず、休むどころか慌た

だしい日々を送られていると思います。ミルクをたくさん飲んでたくさん寝てくれる赤ちゃんもいれば、ミルク量にムラがあつて飲んだり飲まなかつたりする赤ちゃん、なかなか寝てくれない赤ちゃんもいます。そんな時赤ちゃんに向き合っているのはお母さんです。直母が苦手で毎回搾乳して飲ませている、哺乳びんを嫌がってなかなか口にしてくれず量が進まない、哺乳びんをまったく口にしない Spoon で少しずつミルクをあげている…、しんどくてもお母さんは赤ちゃんのためにすごい努力をしています。お話を聞いていると、涙が出そうになるくらい頑張っているお母さんもいらっしゃいます。なんとかしてあげたいと思いますが、実際に助けてあげられるのはやはりご家族です。お父さんが「育児休暇」を取得することがもっと当たり前になり、生まれたその時だけでなく、家族が必要としている期間取得できることが、あるべき姿の「育児休暇」だと思います。本当に必要な「育児休暇」が取得できる、そんな社会になればいいなあと思います。

さて、10月からインフルエンザワクチンの接種が始まります。インフルエンザワクチンを接種することで発症を予防する効果とともに、インフルエンザに罹患した時に起こりうる脳炎・脳症などの重篤化を予防することも期待できます。インフルエンザ脳症は死に至ることもあり、30%が死亡、25%が後遺症を残すとされる非常に恐ろしい病気です。子どもを守るために、子どもの笑顔、未来を守るためにインフルエンザワクチンを接種しましょう。



歯科医師 小池秀行
日本補綴歯科学会専門医 歯学博士
歯が欠けたり失われたりした場合に、かぶせ物、差し歯、ブリッジ、入れ歯(義歯)、インプラントなどの人工物で補い、機能・審美を回復することを専門とした、学会で認められた歯科医師です。

「歯医者に行くのは痛くなったら」で ダイジョウブ？ —それ、歯を失うのを早める考え方です—

歯医者に行こうと思うのはどんなときでしょう？

「痛くなったら行けばいい」、「痛くなければダイジョウブ」って考えて、何年も歯医者に通っていないということはありませんか？

からだの他の病気で考えてみてください。病気は痛くなかったら大丈夫ですか？違いますよね。自分では感じ取れない状態、異常だとは感じていない状態、日常生活に支障のない状態、こういった状態であっても病気は進行していることはあります。

皆さんは健康診断に行くことでいろいろな検査が受けられて、自覚のない病気を発見することができ、また、早くに治療を行うことでおおごとにならない場合も多々あることはご存じだと思います。

『早期発見・早期治療』という言葉がこれにあたるので、皆さんよく聞き馴染んできているのではないのでしょうか。

さて、では口の中に話を戻しましょう。

繰り返しますが「痛くなったら行けばいい」、「痛くなければダイジョウブ」という考え方は『早期発見・早期治療』とは反対のことを言っていないのでしょうか？虫歯も自覚症状のないうちに、まだ小さい段階で治療してしまえばおおごとにならずに治療できることが多いです。例えばその歯に関しては即日治療で終わるといった感じですね。しかし、痛くなってから、とくに痛み止めを飲むような痛み、眠れないほどの痛みになってから歯医者に行くと、場合によっては歯を抜かなくてはならないこともあります。また、そうでなくとも複数回の治療になり、来院回数が増え、治療期間が延びる可能性が高くなります。

痛みが生じるということは、虫歯が随分と進行していることのアラわれで、からだか悲鳴を上げている状態です。そして虫歯は基本的に一方通行の病気で、虫歯によって溶けてしまった部分が自然に治るということはありません。

自然に治らない、失った部分は元に戻らないので、歯の治療は詰め物や銀歯、入れ歯、インプラントといった「物=商品」で補っていく治療(補綴治療)になるわけです。ですから痛みを我慢して治療を先延ばしにすると、どんどん自分の歯の部分が少なくなります。これは極論すると歯を失い、入れ歯になるのが早くなるということになります。

逆に考えれば、前述のように、自覚症状のない、虫歯もまだ小さな状態のうちに治療をすれば自分の歯を多く残すことにつながるわけだから『早期発見・早期治療』が望ましいとなるわけです。これは歯周病など他の病気で同様です。

『早期発見・早期治療』を行うことで、やはり歯周病による歯の痛みや揺れ、脱落などを防ぐことにもつながりますし、虫歯の治療と同様に来院回数や治療期間も短くなりやすいでしょう。

ちなみに日本では成人の約80%が歯周病といわれ続けており、歯を失う原因の第一位は虫歯ではなく歯周病です。

自分は歯周病ではないと思込んでいる方は多いと思いますが、食後の歯磨き、定期的な口の掃除(歯石取り)などをしっかりされている方が、歯周病でない約20%の方だと思ってください。

歯周病も自覚症状が出てからでなく、検査の段階で発見し、治療を行うと経過がいいのは前述の虫歯と同様であり、これはからだの他の病気のケースと同じなんだと考えてください。

歯の定期健診による『早期発見・早期治療』は、口の中の健康を保つ最善の方法ですよ。



イラスト：「かわいいうフリー素材集 いらすとや」より

Happy meal

*冷やし中華・レタスチャーハン 他



*チキンの柚子胡椒マヨ焼き・
鱈のムニエルトマトオニオンソース 他



*豚肉の野菜巻き・
ガーリックシュリンプ 他

*うなぎ飯・三色そうめん 他



*オムライスデミソース・
海老のカダイフ巻 他



*チキンの夏野菜重ね焼き・
赤魚のポテト焼き 他



*ハンバーグデミソース・小海老のカッペリーニ 他



旗 昼食 VS. おやつ

ご出産されたお母さま方に「エグゼクティブラウンジ」で
ご提供させていただいているお食事、そしておやつ…。
たくさんお写真をお取りいただきありがとうございます。
産後の回復はもちろん、母乳のためにもたくさん召し上がってください。



*チョコレート フルーツ添え



*マロンケーキ
餡子パイ



*バナナコッタと桃の
ムース ミニパンケーキ



*鶏肉の竜田揚げ・カレーの野菜あんかけ 他



*ミルクレープ フルーツ添え

TOPICS

エステサービス



当院からのスペシャルプレゼントとして、お産疲れを癒して
いただくために「エステサービス」をご提供させていた
だいています。エステティシャンによるフェイス&フットの
トリートメントで至福のひとつときをお過ごしください。
当院4Fの「エステティックサロン」がお待ちしております。



インターネット予約を ご利用ください!



産科・婦人科、小児科を受診の
方は、インターネットを使った
「診療予約システム」がご利用い
ただけます(歯科は電話予約の
み)。すでにID(診察券番号)を
お持ちの方はもちろん、初診の
方もご予約いただけますので、
ご登録の上、お気軽にご利用
ください。

*ご利用方法は当院サイトの[外来
予約]をご参照ください。
ログインは各診療科のボタンか
ら、もしくはQRコードから願
います。

小池病院 予約ページ

ログイン

お名前

ID (診察券番号)
例) 1234567

生年月日 (西暦)
例) 1980年3月20日

年 月 日

ログイン

ID・生年月日を保存する

初めての患者様

ID登録

IDをお忘れの患者様
・利用規約

お問い合わせ

お問い合わせ

Copyright © KYORITSU

自己血輸血

当院では、安全な出産や手術をしていただくた
めに、あらかじめご自分の血液を貯血保存す
る「自己血輸血」を取り入れています。

わが国は、赤十字血液センターの努力で血液
が安定供給されるようになった結果、出血量
の多い手術でも比較的安全に行われるよう
なってきました。しかし、血液センターの血液
は、自分の血液ではありませんから問題点が
なくなったとはいえません。それに比べ「自己血
輸血」の場合は当然自分の血液ですから、感染
症や拒絶反応を起こすなどの輸血時のトラブル
がありません。

医師の判断により、出血量が多いと予想され
る手術を受けられる方には「自己血輸血」をお
すすめしています。

※詳しくは担当医までおたずねください。